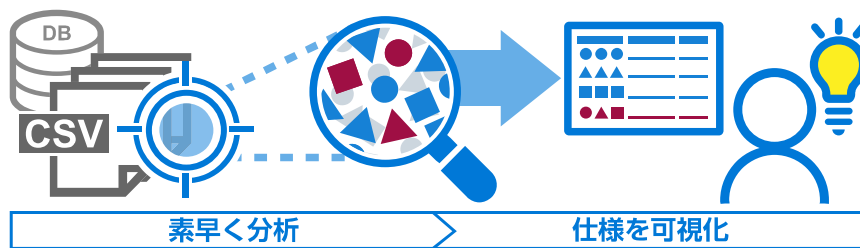


素早くより簡単にデータ仕様を可視化

データ仕様可視化ツール

データベースに格納されているデータを素早く分析し、仕様を可視化するツールです。

- 既存の仕様書を準備する必要はありません。
- データの分析結果は一覧形式で可視化され、データのバリエーションや分布が分かります。
- 分析結果をデータの修正や仕様書の見直しに活用することで、データ品質や設計品質の向上、手戻り防止に役立ちます。

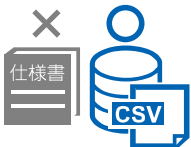


データの実態を把握できます

バリエーションやデータ分布を把握できます

異常データを検出できます

データ仕様可視化ツールの特長



面倒な準備が不要

準備するのはデータベースのデータのみで、仕様書などの資料は必要ありません。CSVファイルを読み込み、高度な解析技術ですぐに結果を出力します。



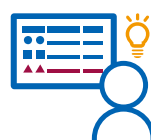
膨大なデータも素早く分析

500万件を超えるような膨大なデータでも素早く分析し、結果を出力します。全データを網羅的に分析し、隠れた少数派データの特徴も顕在化できます。



異常なデータを検出

分析対象データの中から、異常なデータを検出します。これにより、効率的なデータクレンジングが可能となり、正確でスムーズなデータ移行・システム更改を支援します。



明確でわかりやすい分析結果

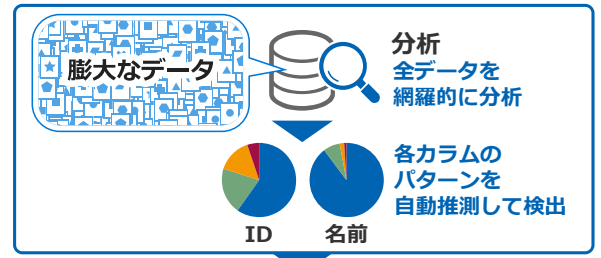
データバリエーションやデータ分布、異常候補などを一覧形式で出力するため、確認すべき問題点や検討事項を把握できます。

※データバリエーション一覧の例を裏面でご紹介しています。

データ仕様可視化ツールが実現すること

■ データ調査の工数を削減

膨大なデータに対して、各カラムのパターンを自動で推測します。日付や姓名などの区別だけでなく、形式の微妙な違いも検出できるため、手作業での調査に比べ、工数を大幅に削減できます。現行資産のマイグレーション時に効果的に活用できます。



データ調査の工数削減

■ 事故の未然防止

データバリエーションに、仕様書と異なるデータや、想定していなかったデータがあった場合、該当するレコードをCSVファイルから抽出できます。本ツールをプロジェクトの初期時点で利用することで、異常データによる問題を早期に確認、および事前の対応が可能となり、設計の手戻りやデータ移行の事故などを軽減できます。

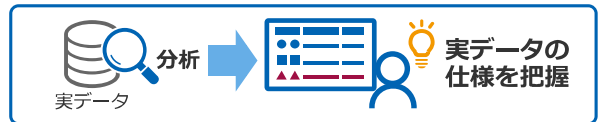


計画・設計

異常データに対して事前の対応が可能

■ 精度の高いテストデータ作成を支援

実データのバリエーションや分布を出力します。テストデータ作成時に本ツールの分析結果を利用することで、データバリエーションの網羅性が高く、本番に近いテストデータを作成することができ、システムの品質向上を支援します。



TEST
本番環境に近い
テストデータを作成

システムの品質向上を支援

データバリエーション一覧の例

カラム名	① 種別	② パターン	③ 割合	④ 異常候補	⑤ データ例
従業員コード	コード系	XXX99999	99.99%		ABC12345
		XX99999	0.01%	*	AA56789
従業員氏名	姓名	人名（区切り文字あり）	98%		山田 太郎
		人名（区切り文字なし）	2%		鈴木一郎
性別	少データ種	1	51%		
		2	49%		
生年月日	年月日	YYYYMMDD	99.9%		19861210
		YYYY/MM/DD	0.1%	*	1990/10/11

- ① 該当カラムに登録されているデータから自動で種別を推測して出力します。上記例のほか、数値や地名にも対応しています。
- ② どのような形式で格納されているかを出力します。
- ③ パターンで表されるデータの割合を出力します。
- ④ 異常データの候補を出力します。
- ⑤ 格納されているデータを抽出して出力します。その他、最小値・最大値や最小文字数・最大文字数などの情報も出力します。

サービスメニュー

- サポートサービス ツールの機能や使用方法に関するお問い合わせに対応します。

● ツールやサービスの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

お問い合わせは下記へ

■ 日立エンタープライズ アプリケーションサービス情報サイト
<https://www.hitachi.co.jp/appsdiv/>

